

【報告】 令和 4 年度周産期医療実態調査結果（速報）

令和4年度周産期医療実態調査の概要

次期計画策定の基礎資料とするため、県内に住所地を有する妊婦の受療動向や、医療機関の状況、分娩数等の実態を把握するため、調査を実施したものの。

〔調査対象期間〕 令和4年9月～11月

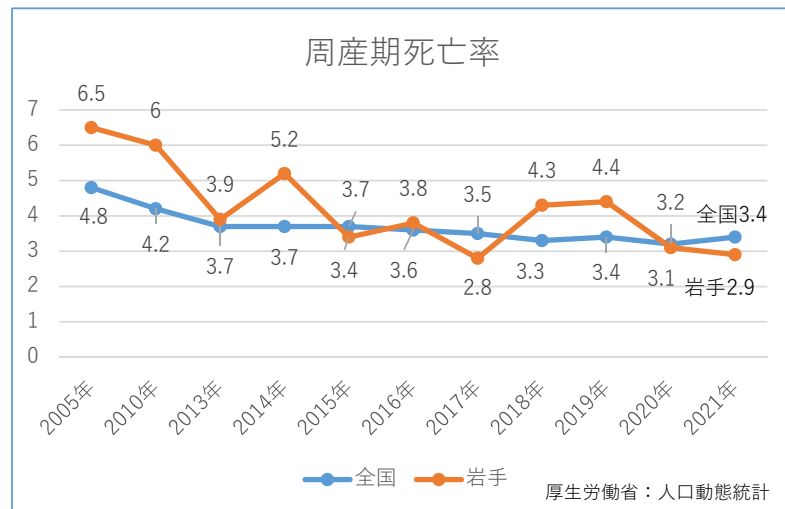
〔調査対象期間〕 令和元年（2019年）1月～12月及び令和3年（2021年）1月～12月

- 総合周産期母子医療センター、地域周産期母子医療センター、産婦人科を標ぼうする医療機関（計63施設）に調査票を配付、回答依頼
- 分娩取扱医療機関（周産期母子医療センターを含む）22施設のうち21施設から回答（令和4年12月7日時点）
- 分娩を取り扱っていない施設のうち、妊婦健診を行っている9施設から回答
- 現時点で全ての分娩取扱医療機関からの回答が揃っていないこと、また、医療機関によっては回答不能な項目もあること、今後の精査によっては数値を修正する可能性もあることから、現時点での本調査結果は参考数値とし取扱に御注意をお願いします。

1 岩手県の周産期医療に係る現状と課題

【現状】

(1) 周産期死亡率の状況

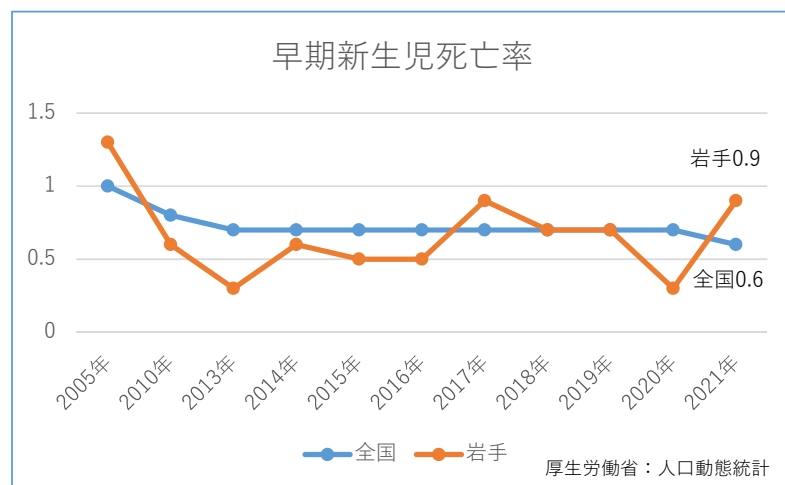


○本県の周産期死亡率は、年により変動があるものの、長期的には全国と同様に減少傾向にある。

○本県の周産期死亡原因の上位

2019年	その他の胎盤異常：8件	臍帯の異常：6件	常位胎盤早期剥離：5件
2021年	その他の胎盤異常：6件	母体疾患：2件	不詳：2件

R4年度岩手県周産期医療実態調査



○生後7日未満の早期新生児死亡率は、年により変動があるものの、長期的には概ね横ばいである。

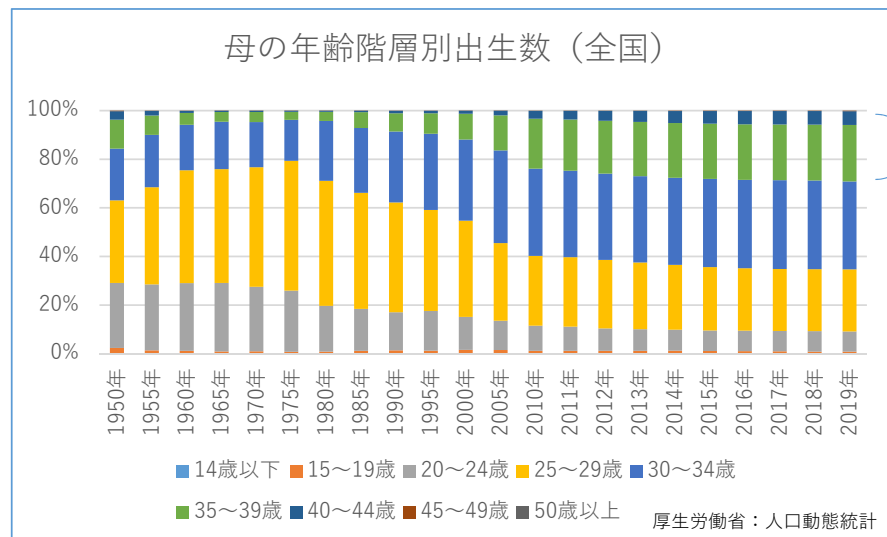
○本県の早期新生児死亡原因の上位

2019年	その他の胎盤異常：3件	新生児呼吸障害：2件
2021年	その他の胎盤異常：4件	

R4年度岩手県周産期医療実態調査

1 岩手県の周産期医療に係る現状と課題

(2) 晩産化の進行



35歳以上が約3割

○晩婚化・晩産化の進行も背景に、ハイリスク分娩割合が増加

○全県でのハイリスクの要因別では、2019年、2021年ともに「妊娠30週未満の切迫早産」、「妊娠高血圧症候群重症」、「糖尿病」、「子宮内胎児発育遅延」が上位にある。

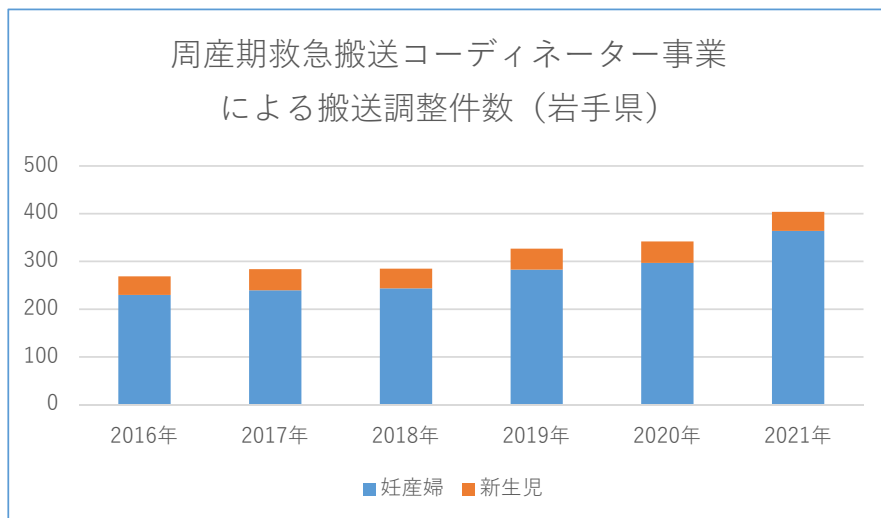
(3) ハイリスク分娩管理加算を算定した症例数（県内・有回答医療機関のみ・参考数値）

	2019年	2021年
早産(22～32週未満)	6	2
40歳以上の初産婦	32	48
BMI35以上初産	2	11
妊娠高血圧症候群重症	100	85
常位胎盤早期剥離	11	15
前置胎盤	5	14
妊娠30週未満の切迫早産	135	153
双胎間輸血症候群	0	0
多胎妊娠	36	44
子宮内胎児発育遅延	65	65
心疾患	0	0
糖尿病	69	89
甲状腺疾患	7	15
腎疾患	0	1
膠原病	1	3
特発性血小板減少性紫斑病	1	0
白血病	0	0
血友病	0	0
出血傾向	1	0
H I V 陽性	0	0
Rh不適合	3	2
当該妊娠中に帝王切開以外の開腹手術	4	1
精神疾患	5	4
その他	6	6
計	489	558

R4年度岩手県周産期医療実態調査

1 岩手県の周産期医療に係る現状と課題

(4) 妊産婦の救急搬送の増加



○周産期救急搬送コーディネーター事業による搬送調整件数は、2016年から2021年にかけて、約6割増加。（主に妊産婦の搬送が増加）

○令和3年度の搬送依頼理由は、①切迫早産、②母体合併症、③前期破水・高位破水、④胎児機能不全の順番に多い。

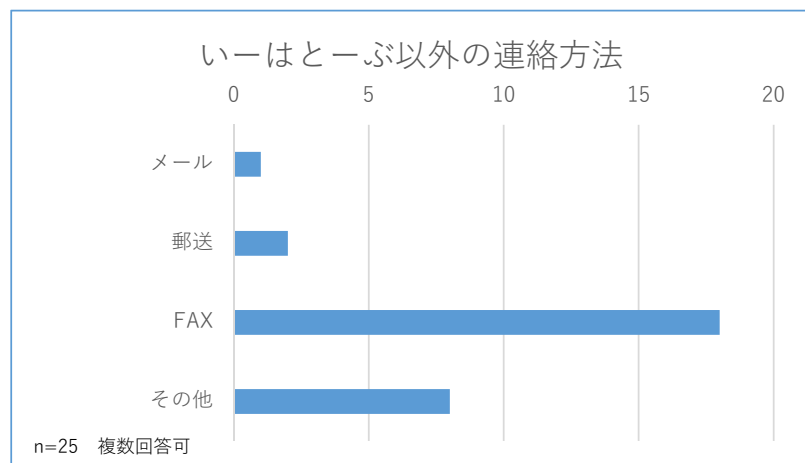
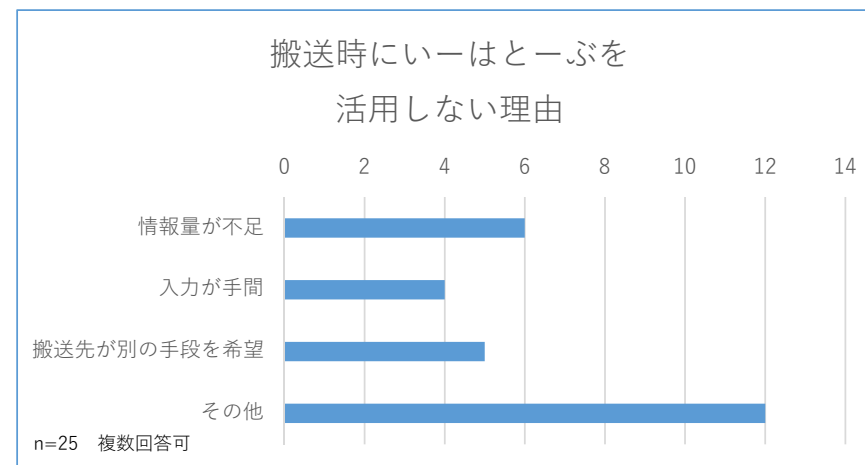
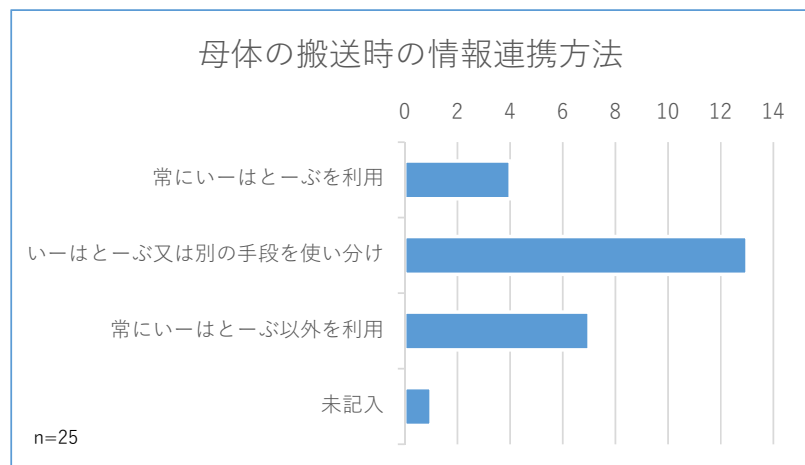
(5) 戻り搬送※の状況

	2019年	2021年
病院	9.9%	9.7%
産科診療所	1.8%	1.4%

※母体の搬送要請をした件数のうち、搬送後、自院に戻り、自院で分娩した件数の割合

R4年度岩手県周産期医療実態調査

(6) 母体搬送時の情報連携



R4年度岩手県周産期医療実態調査

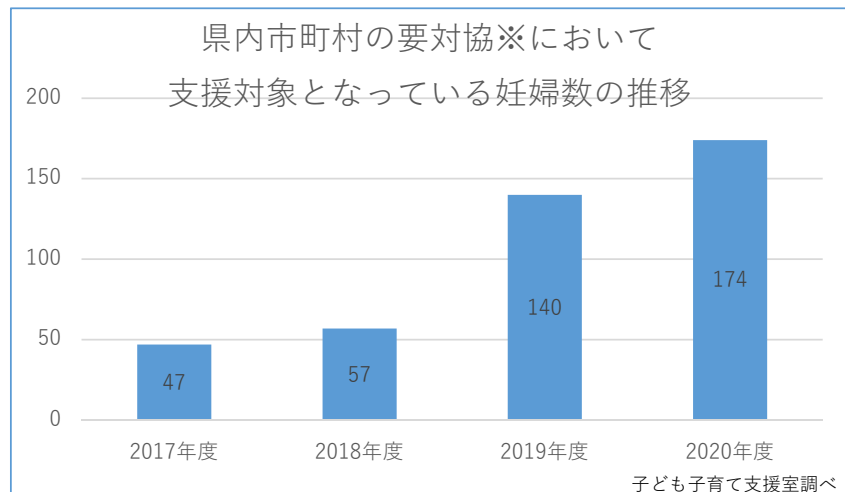
- 母体搬送時、イーハと一ぶを活用している医療機関よりも、活用していない医療機関の方が多い。
- 活用していない理由としては、「イーハと一ぶでは必要な情報量が不足」が最も多く、搬送先に「診療情報提供書」をFAX等で送る例が多い。

その他（医療機関自由記載）

- ・診療情報提供書は病院毎に決められていることが多く、「イーハと一ぶ」のみでは対応できない。
- ・周産期電子カルテ（HQP-化[®]）の使用により、搬送依頼先病院と連携操作で対応することが多いが、検査結果等は、印刷された検査詳細情報で確認している。
- ・電子カルテ（HQP-化[®]以外）とイーハと一ぶとの連携インターフェースがなく、使用の場合は情報の二重登録が生じ、手間となるためイーハと一ぶを使用していない。

1 岩手県の周産期医療に係る現状と課題

(7) メンタル疾患など、支援を要する妊産婦への対応



※要対協：要保護児童対策地域協議会

特定妊婦の定義

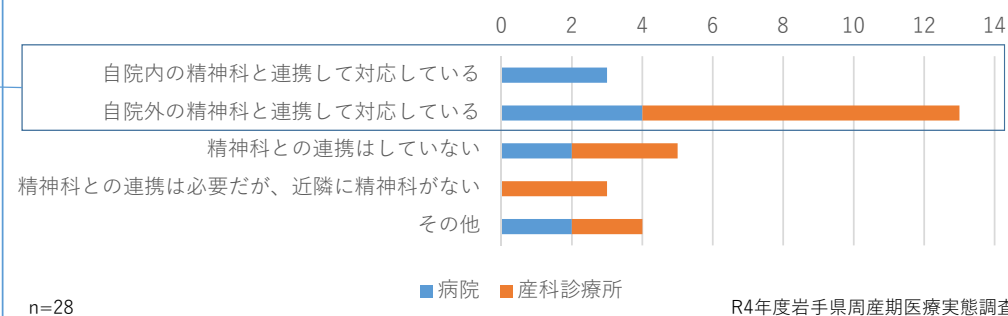
○児童福祉法

出産後の養育について出産前において支援を行うことが特に必要と認められる妊婦（第6条の3第5項）

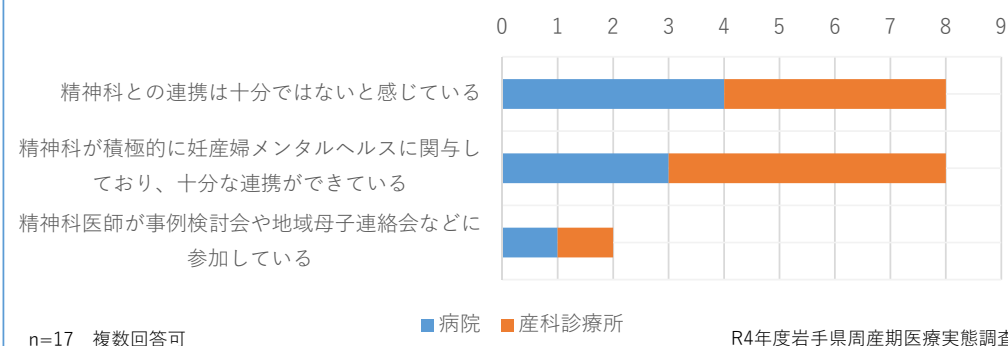
○子ども虐待対応の手引き（厚生労働省）

- ① すでに養育の問題がある妊婦
要保護児童、要支援児童を養育している妊婦
- ② 支援者がいない妊婦
未婚又はひとり親で、親族など身近な支援者がいない妊婦、夫の協力が得られない妊婦 等
- ③ 妊娠の自覚がない・知識がない妊婦、出産の準備をしていない妊婦
- ④ 望まない妊娠をした妊婦
育てられない、もしくはその思い込みがある、婚外で妊娠した妊婦、既に多子を養育しているが経済的に困窮している状態で妊娠した妊婦 等
- ⑤ 若年妊婦
- ⑥ こころの問題がある妊婦、知的な課題がある妊婦、アルコール依存、薬物依存 等
- ⑦ 経済的に困窮している妊婦
- ⑧ 妊娠届の未提出、母子健康手帳未交付、妊婦検診未受診又は回数の少ない妊婦

妊産婦のメンタルヘルスに関する 精神科との連携の状況（県内）



精神科との連携は十分かどうか

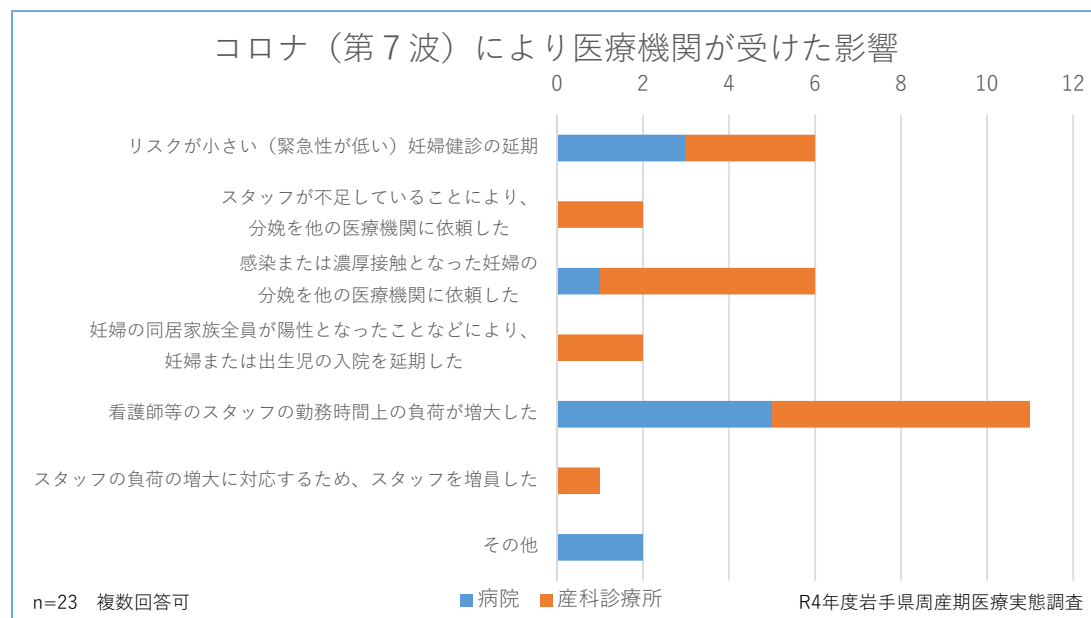


精神科との連携に関する課題等（医療機関自由記載）

- ・妊産婦のメンタルヘルスに関心を持たれる精神科医が増えることと、体制構築が課題
- ・妊娠期には問題はなくても、産後にメンタルの変調をきたす例が増えている。

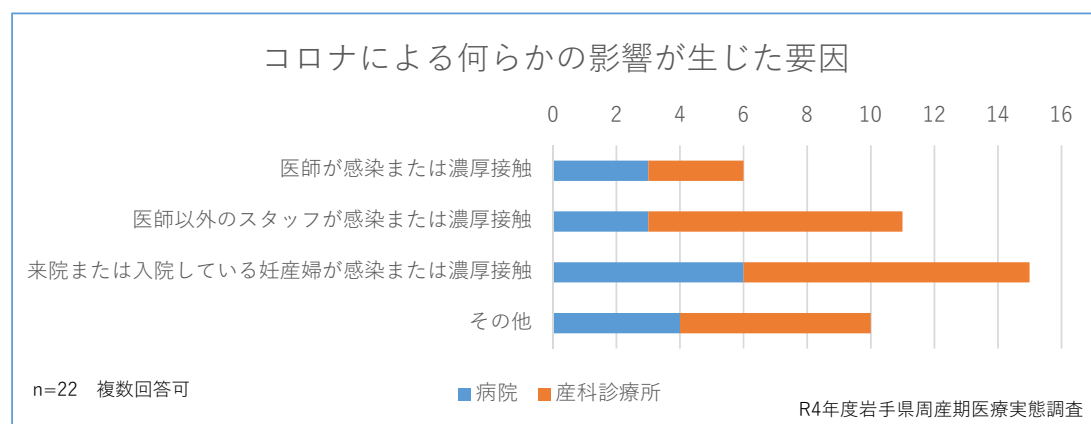
1 岩手県の周産期医療に係る現状と課題

(8) 新型コロナウイルス感染症 第7波の影響



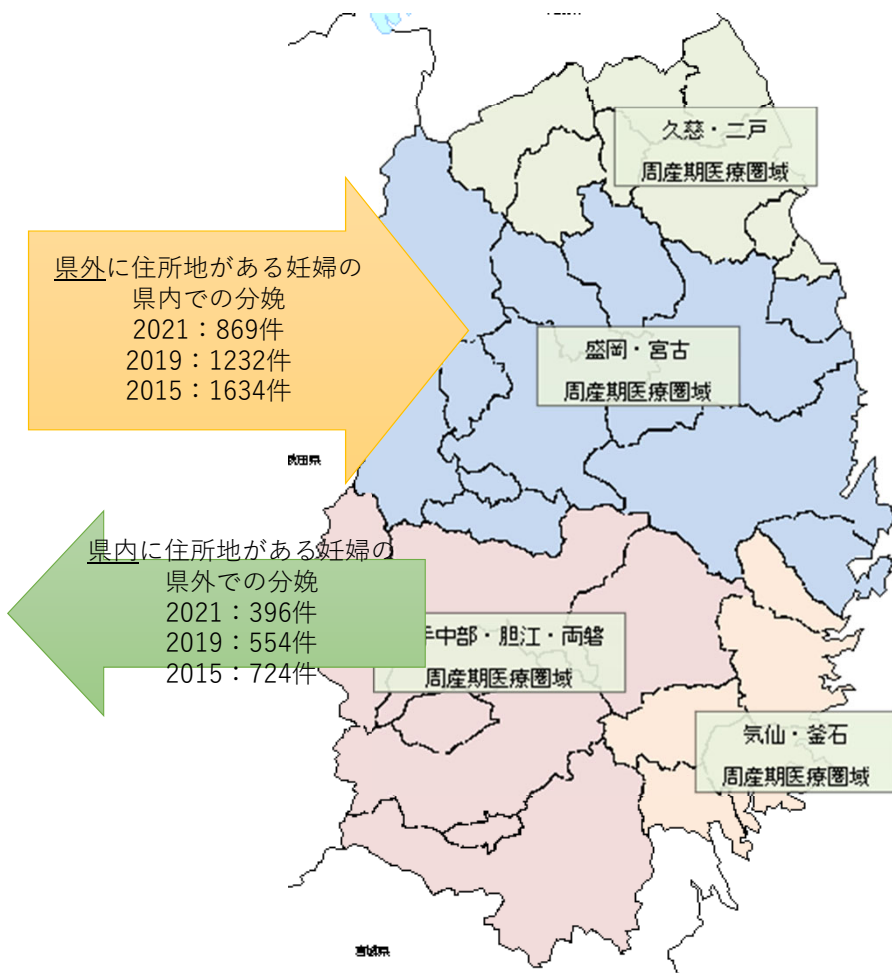
○コロナの流行による影響の内容で、最も多かったのは「スタッフの勤務時間上の負荷が増大した」であった。

○一方で、負荷の増大に対応するためにスタッフの増員ができた医療機関は1にとどまった。



1 岩手県の周産期医療に係る現状と課題

(9) 県内における分娩の状況



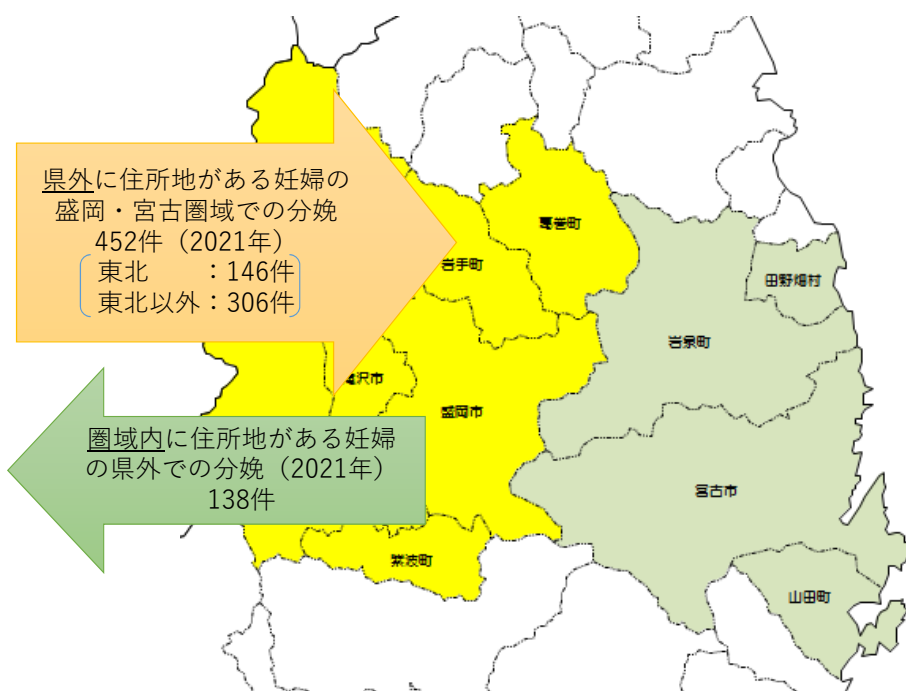
県内に住所地がある妊婦の分娩状況

分娩場所	2015年		2019年		2021年	
	分娩数	割合	分娩数	割合	分娩数	割合
県内	8,239	91.9%	6,433	92.1%	6,151	94.0%
東北他県	441	4.9%	379	5.4%	286	4.4%
東北以外	283	3.2%	175	2.5%	110	1.7%
計	8,963	100.0%	6,987	100.0%	6,547	100.0%

○分娩地（県内、東北他県、東北以外）別の割合をみると、県内に居住する妊婦が県内で分娩した割合は、2015年の91.9%から2021は94.0%と増加している。

(9) 県内に住所地がある妊婦の分娩場所

【圏域別】 盛岡・宮古周産期医療圏に住所地がある妊婦

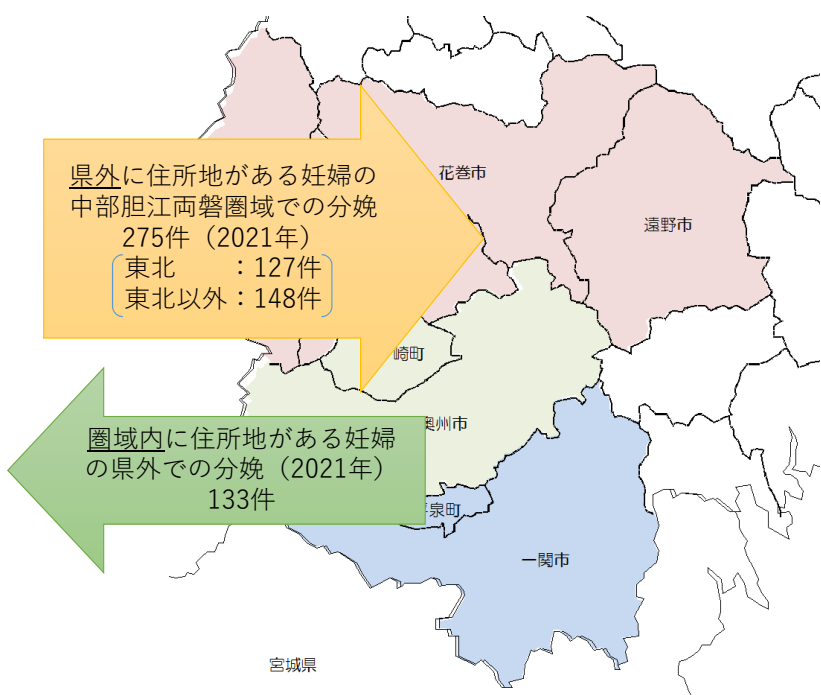


産婦の住所地	分娩した場所（2021年）						
	圏域内	県内他圏域	県内計	東北他県	県外その他	県外計	計
盛岡	2,720	105	2,825	62	63	125	2,950
うち盛岡市	1,845	63	1,908	45	43	88	1,996
宮古	298	44	342	9	4	13	355
盛岡・宮古圏域	3,070	97	3,167	71	67	138	3,305
割合（％）	92.9%	2.9%	95.8%	2.1%	2.0%	4.2%	100.0%

産婦の住所地	分娩した場所（2015年）						
	圏域内	県内他圏域	県内計	東北他県	県外その他	県外計	計
盛岡	3,316	210	3,526	141	141	282	3,808
うち盛岡市	2,305	106	2,411	121	107	228	2,639
宮古	436	69	505	15	20	35	540
盛岡・宮古圏域	3,829	202	4,031	156	161	317	4,348
割合（％）	88.1％	4.6％	92.7％	3.6％	3.7％	7.3％	100.0％

(9) 県内に住所地がある妊婦の分娩場所（2021年）

【圏域別】岩手中部・胆江・両磐周産期医療圏に住所地がある妊婦

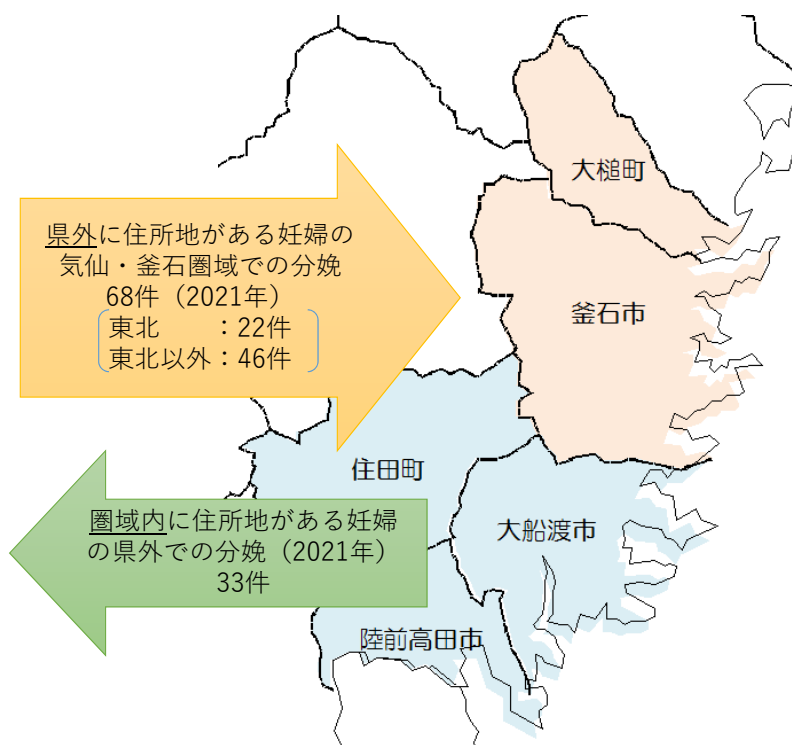


産婦の住所地	分娩した場所（2021年）						
	圏域内	県内他圏域	県内計	東北他県	県外その他	県外計	計
岩手中部	870	218	1,088	63	20	83	1,171
胆江	146	526	672	15	5	20	692
両磐	447	29	476	25	5	30	506
岩手中部・胆江・両磐圏域	1,951	285	2,236	103	30	133	2,369
割合（％）	82.4%	12.0%	94.4%	4.3%	1.3%	5.6%	100.0%

産婦の居住圏域	分娩した場所（2015年）						
	圏域内	県内他圏域	県内計	東北他県	県外その他	県外計	計
岩手中部	1,171	278	1,449	68	41	109	1,558
胆江	556	380	936	42	18	60	996
両磐	602	48	650	31	32	63	713
岩手中部・胆江・両磐圏域	2,716	319	3,035	141	91	232	3,267
割合（％）	83.1%	9.8%	92.9%	4.3%	2.8%	7.1%	100.0%

(9) 県内に住所地がある妊婦の分娩場所（2021年）

【圏域別】気仙・釜石周産期医療圏に住所地がある妊婦

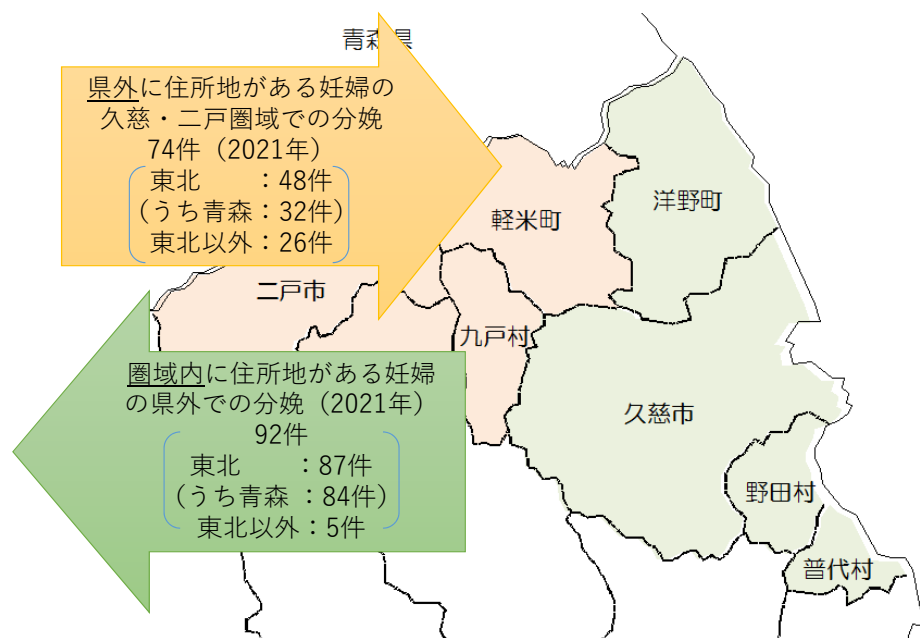


産婦の住所地	分娩した場所（2021年）						
	圏域内	県内他圏域	県内計	東北他県	県外その他	県外計	計
気仙	193	12	205	20	4	24	229
釜石	38	163	201	5	4	9	210
気仙・釜石圏域	349	57	406	25	8	33	439
割合（％）	79.5%	13.0%	92.5%	5.7%	1.8%	7.5%	100.0%

産婦の居住圏域	分娩した場所（2015年）						
	圏域内	県内他圏域	県内計	東北他県	県外その他	県外計	計
気仙	331	30	361	25	12	37	398
釜石	160	109	269	10	8	18	287
気仙・釜石圏域	558	72	630	35	20	55	685
割合（％）	81.5%	10.5%	92.0%	5.1%	2.9%	8.0%	100.0%

(9) 県内に住所地がある妊婦の分娩場所（2021年）

【圏域別】久慈・二戸周産期医療圏に住所地がある妊婦



産婦の住所地	分娩した場所（2021年）						計
	圏域内	県内他圏域	県内計	東北他県	県外その他	県外計	
久慈	88	81	169	60	2	62	231
二戸	141	32	173	27	3	30	203
久慈・二戸圏域	284	58	342	87	5	92	434
割合（%）	65.4%	13.4%	78.8%	20.0%	1.2%	21.2%	100.0%

産婦の居住圏域	分娩した場所（2015年）						計
	圏域内	県内他圏域	県内計	東北他県	県外その他	県外計	
久慈	211	69	280	83	10	93	373
二戸	231	32	263	26	1	27	290
久慈・二戸圏域	493	50	543	109	11	120	663
割合（%）	74.4%	7.5%	81.9%	16.4%	1.7%	18.1%	100.0%